

第 8 回宇部市本庁舎建設基本計画検討委員会 議事録

日時/場所 2016 年 8 月 22 日 18 時～19 時 / 宇部市役所 4 階委員会室

出席者 検討委員会／内田委員長、白石副委員長、藤井委員、藤川(尚)委員、加藤委員、杉野委員、大畑委員、福田委員、橋本委員、三村委員、藤川(修)委員
宇部市都市整備部／白石部長、坂本次長、小森次長、富田課長、上原主幹、三戸課長補佐、深川係長

1. パブリックコメントの結果報告について

【主な意見】

- 委員 : 市民説明会の参加人数は何人か。
- 事務局 : 4 地区全体で計 46 名である。内訳は、西岐波ふれあいセンター参加者 15 名・質問者 5 名、船木ふれあいセンター参加者 9 名・質問者 3 名、厚南市民センター参加者 18 名・質問者 6 名、男女共同参画センター参加者 4 名・質問者 2 名であった。質問者数はのべ 16 名・質問数は計 28 件であった。
- 委員 : パブリックコメントがほとんど基本計画に反映されていないのはどう理解したら良いのか。また、意見には今まで議論した内容と同じようなものも多く、これまでの検討経緯が十分に市民に伝わっていない印象がある。
- 事務局 : 反映数が少ないのは今後、設計段階で検討すべき内容の意見が多かったことが主な理由である。
- 委員 : パブリックコメントは該当ページごとに整理をした方が良い。また、今後どの意見が設計に反映されたのかを確認できるようにしてほしい。
- 事務局 : 複数ページにまたがる意見があるので、該当ページで整理するのは難しい。そのため、項目ごとに整理をしている。どの意見が設計に反映されたかは、今回の結果表に基づき整理していこうと思う。

2. 基本計画(案)について

【主な意見】

- 委員 : 仮庁舎をつくることはコストの関係で反対である。また、港町庁舎はそのまま利用するとのことだが、教育委員会がそのまま使うのか。
- 事務局 : 港町庁舎にどの部署が入居するかは未定である。総合窓口の導入等、来庁者の利便性を考慮しながら設計段階で検討したい。
- 委員 : ソフト面で市民へのアピールを深めて、庁舎が変わるということをまず市民に伝えることが必要である。ポスターを貼るだけでも意識が変わるのではないかな。
- 事務局 : 基本計画が確定すれば、広報うべ(10月号)への掲載を予定している。
- 委員長 : 今後設計者選定手続きの中で公開プレゼンテーションを行うことになった場合は、チラシ等作成して大々的に周知するようにしてもいいのではないかな。
- 委員 : 職員の方の意見や要望が見えないが、基本計画に加えることは考えていないか。実際に庁舎で働く立場としては、どんな考えがあるのかを聞いてみたい気もする。
- 事務局 : 庁内でも協議会等を立ち上げて意見を調整している。今のところ庁内の協議内容を公表する予定はないが、必要であれば検討していく。
- 委員 : 市民説明会開催やパブリックコメント募集など、市のHP等を閲覧して自ら知ろうとしたり、市役所に来た人でないと情報を得られない方法では周知が難しいのではないかな。情報を取りに来ない人をどう取り込んでいくかの検討が必要。広報うべなどの各家庭に配布されるものを十分に活用すべきである。
- 事務局 : 毎月広報に、中心市街地のまちづくりがどのように展開しているか、コラムを作って紹介しており、その中で新庁舎建設の進捗状況についても掲載していく。
- 委員 : 市民説明会の参加者数、パブリックコメントの意見者数がかなり少ない。メディアや祭りの場を活用するなど、市民への周知に力を入れるべきである。また、市民説明会のコメントにあった「市民の中にもプロがいる」という意見はもっともで、発注者側にもプロを抱えて設計作業のチェックが出来る体制で進めることが必要である。今後、市民の意見を吸い上げる方法や時期については後戻りのないようにするべき。あるところまではしっかり意見を聞き、そこから先はプロに任せるといような判断も必要である。
- 事務局 : 設計段階では建築技術職を多く抱える営繕課の参画を予定している。市民の意見は進捗に合わせ、節目節目で伺いながら市民の使いやすい庁舎を目指したい。手戻りのない

ような方法を検討していく。

委員長：市民の役割、プロの役割を明確にして進めることが大事である。

委員：市民の意見を聞くことは重要であるが、すべて聞くということではなく、市としての方針を明確にしっかり説明した上で、最終的には市が責任を持って判断するという姿勢を示されれば良い。また、配置パターンについてA案が最も安いということだが、せつかくの機会であるので、コストだけにとらわれず理想を持って良いものを作るという視点で作った案も検討の土俵には上がっている。

副委員長：P.18に記載があるように「市街地中心部におけるオアシスづくりに伴う回遊性の向上を図る」意味で、暑い時期、寒い時期に市民が休める場所が庁舎内にあると良い。休むことだけを目的に来庁することでも良いのではないかな。

事務局：基本計画にも記載しているように、気軽に立ち寄れる庁舎づくりを目指して設計を進めたいと考えている。

委員：熊本地震があって、ますます防災拠点機能の確保が急務であると考えている。そのためにも建替えはできる限り早い時期としてほしい。

委員：職員の関与について、資料編には「新庁舎建設に伴う窓口サービス改善提言書」が含まれている。また、庁舎の規模算定においても職員の執務スペース、福利厚生スペースが示されているが、今後、精査されていくものと思う。

3. その他

今後のスケジュールについて

事務局：基本計画はこれから庁内での手続きを終え、できる限り早い段階で公表していきたいと考えている。その後、9月議会において、これから3年間に渡る設計業務発注に関する承認を得る予定としている。設計者選定プロポーザルについては、公開プレゼンテーションを検討しており、市民の皆さんに、どんな提案があり、どんな設計者が選ばれたのかが分かるように進めていきたい。

委員長：市民の役割、行政の役割、それぞれの役割分担を考えながら取組みを進め、市民の皆さんの関わりを建物が完成するまで維持し、つなげていけたらいいなと思っている。

今後のスケジュールには、その事を踏まえて市民が関われるチャンスを作っていたいただいていると理解した。

以上